

## 5. 事務局

専務理事 岩井 秀樹

事務局長 寺田 智愛

(2023 年度事業方針)

これまで（一社）野洲青年会議所は、少数精鋭の LOM として 県内でも注目 される中、活動・運動を行ってまいりました。これは、どんな時でも第一にメンバーや郷土野洲のことを考えられる仲間とともに切磋琢磨できたからです。その中で、さらに想い描いた方向に導くためには、どんな状況下でも変化を生み出し、多くのひとを巻き込める組織づくりをしていかなければなりません。

まず、自分の置かれた立場、環境を見つめなおす機会を増やし、我々の「強み」「魅力」を確認・共有します。次に、他 LOM や市民団体と関わる協力や出向、協働といった運動に向けたメンバーの機会を創出し、様々な団体の価値を感じながら、知識や経験を積み重ねていきます。そして、多様性を取り入れた組織の在り方を考えることで、当事者意識を育み、全メンバーで活動・運動を働きかけられるよう、意志を強くもっていただきます。さらに、行動の起点となり、協働のきっかけを生む広報戦略を立てることで、各委員会が積極的に生み出していく様々な価値を対内外に向け発信し、興味から関心、共感の渦をより力強くしていきます。

対内外の交流が渦となり、一人ひとりの自発的な行動によって シナジー効果を生み出していきます。組織の中でシナジー効果を 発揮していくことは、野洲のまちにより良い変化をもたらします。 そんな魅力的な人財が集まる野洲青年会議所として価値ある一歩を踏み出しましょう。

### 【例 会】

様々な価値観を感じる 4 月例会

多様性を取り入れた組織を考える 8 月例会